

大島地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
学校に関する事	1 特別支援学級とは何か。	特別学級とは、肢体に不自由があったり、知的障害があるなど、障害のある子どもさんに対応するための学級。状態によってクラス分けをし、1学級に1人の担当教員を配置している。
	2 加配(かはい)教員とは何か。	全ての学校にいるわけではないが、定数配置の教員以外で特別に配置している教員のこと。学級数に応じて、県と市から配置している。
	3 免許外の先生はいるのか。	吉海中・・・美術、技術家庭科の専門がいらない。 宮窪中・・・美術の専門がいらない。
	4 0歳児以降、1学年で35人維持していけない状況になるのではないか。	全国的に少子化が進む中、今治市も例外ではなく、ご指摘のとおりになるかもしれない。子育て対策は本格的に取り上げてはいるが、まだ成果が出ていない。
	5 小学校の通学について、平地の4kmと、山道の4kmは違う。配慮願いたい。長時間の通学について、どう考えているか。10kmも通学すると部活動ができない。	基本方針に、バス通学の基準を載せてある。(通学距離が、小学生:3キロ以上、中学生:6キロ以上で通学バス助成の検討対象)さらに、十分協議した上で、できるだけ配慮はする。
	6 中学生は、ほぼ自転車通学とのことだが、特に女の子にとって、「峠越え」は不安だと思う。部活動をすると遅くなり、親も心配である。	
	7 登下校の暗い道が心配である。伯方は、街灯が少ないので、民家の門灯をつけてもらうよう協力依頼しているようだ。	市道、県道などの問題があるが、できるだけ各方面に、設置の依頼をしていきたい。
	8 児童生徒数が少ないと、社会性が身に付きにくいとあるが、児童生徒数が増えると、身に付くのか。	少ない人数よりは、社会性は高まると思う。教科だけでなく、コミュニケーション能力も培えるよう、よりよい教育環境を整えていきたい。
	9 1校に教科の先生が一人しかいないと、その先生の指導力が測れない。先生同士も競ってほしい。	学級数が増えれば、教員の数も増え、教員同士の相談や情報交換も出来やすくなるだろう。同教科の教員同士、切磋琢磨できるようになる。
	10 中学校の部活動はどういう状況か。	吉海中野球部は、男女合わせて10名(内男子7名)。男女のソフトテニス、女子のバスケットボール、男女の陸上競技。陸上など、合同で練習しているものもある。
	11 勉強は各校で、部活動を2校一緒にしてほしい。	中学校での部活動は、教育上重要である事は認識しているが、学校が教育施設として、「子どもたちの学習の場としての機能を高める」という観点からもご検討いただきたい。

大島地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
学校に関する事	12 中学校の合併について、子ども達が多感な時期なので、対応できるか不安。	<p>統合して学年2クラスとなることにより、学習面では大きな集団での学習活動や小さなグループでの学習活動など多様な学習形態に対応できるようになることや、多様な人間関係の中での切磋琢磨、コミュニケーション能力を身につけて行くこと等、メリットは大きいと考えている。</p> <p>その上で、9年間同じクラスで人間関係が心配ということについては、2学級編成が可能である事によるクラス替えや、多様な人間関係を形成できること等、教育環境面での改善や、児童生徒の心理的な面を十分ケアするとともに、市の嘱託教員の増員配置や、統合前の教師をバランスよく配置する等十分な配慮をして行くことにより、デメリットについては十分対応可能だと考えている。</p> <p>新たな人間関係での心配な点は十分に理解するが、その点だけで統合を考えるのではなく、他の学習面や人間関係等の教育環境面でのメリットも考慮した上で前向きな検討をお願いしたい。</p> <p>校舎の新設は考えていない。教室などが不足する場合は、増築、改修等で補う。今ある施設を利用させていただきたい。高校跡については、校舎の耐震が十分ではないため、利用は難しいと考えている。取り壊すとしても、莫大な費用がかかると聞いている。</p>
	13 統合後の子ども達の不安や悩みに対するケアは大丈夫か。	
	14 小・中で9年間メンバーがかわらない。	
	15 子ども達に負担をかけないようにしてほしい。	
	16 校舎や運動場など、教育環境は十分であるか。教室数は足りるのか。	
	17 高校の跡地を利用してほしい。島の真ん中に小、中を新設してほしい。	
地域に関する事	18 子どものための合併でなければならない。親や地域のためにならないよう、合併のメリット、デメリットなど、よく勉強しなければならない。	<p>学校・地域総がかりで取り組む学校教育を目指している。皆さんの意見を出していただき、この協議会で考えていきたい。メリット、デメリットの資料等については、事務局で用意する。</p> <p>学校は、教育施設であると同時に、災害時の避難場所であったり、地域の文化・スポーツの活動拠点であったりと、地域の拠点的な役割を担っており、そのような、地域の文化施設、精神的支柱という側面を踏まえる事は非常に重要な事である。</p> <p>しかしながら、やはり、小中学校は、「子どもたちの義務教育としての施設」であり、「子どもの学習の場としての機能を高めていく」という教育論をやはり第一としてお考えいただきたい。</p> <p>もしかしたら、「子どものための、教育環境・義務教育施設」という側面から学校が求められる事と、「地域の精神的支柱」という側面とで、地域の中でも、意見のずれが生じる場合があるかもしれません。</p> <p>その場合、地域から学校がなくなるのは「とにかくだめだ」というだけではなく、仮に学校を統合した場合においても、「地域と学校のつながりをどう維持していくか、また維持して行く方法もあるのではないか。」ということについても是非、そのような観点からも学校と地域社会のあり方についてお考えいただきたい。</p> <p>また、地域振興ということは、行政として十分に受け止める必要があると考えている。現在は教育面からこの現状をどうするか、という議論を進めているが、仮に地域で学校統合について合意いただいた場合には、地域の振興に資する学校跡地の有効な利用について市の関係各部署において充分検討が必要であると考えている。</p>
	19 学校は、地域の核。いくら小規模になろうとも、残すべき。学校がなくなると、地域の活力が落ちて、不便になる。ますます都市部へ人が流れてしまう。跡地利用はどうするのか。	
	20 皆、島に帰ってこない。ふるさとに帰ってくる街づくりをしてほしい。	
	21 今の学校が無くなるのは寂しい。	
	22 子ども達にとって統合は良いと思うが、それに伴って地域と学校の間がどうなるのか。具体的に考えて欲しい。もし地域が反対しても、統合の方向で進むのではないか。	

大島地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
地域に関する事	23 廃校になると、防災施設としての指定はなくなるのか。体育館だけでも管理してくれるのか。	体育館は、社会施設として残っていることが多い。防災については、他にかわる場所があれば、指定もかわるが、無ければ、残すよう行政に依頼する。
	24 コミュニティ活動は、統合したらどうなるのか。	今までどおり、活動してほしい。旧今治市内についても、5小学校が1中学校に進学するが、公民館活動については、小学校区で分かれて活動している。
その他	25 マスコミには非公開、一般傍聴者には公開ということできないか。	公開ということであれば、報道関係者、一般傍聴者を問わず公開しなければならない。
	26 非公開にすると、生じる問題もあるので、公開で協議したい。噂だけが流れてしまう恐れもある。	原則公開でお願いするが、どうしても今日だけは非公開に、ということであれば、協議委員の判断で、非公開も可能である。
	27 欠席する場合、必ず代理を出さないといけないのか。また、それまでの経過を代理人に説明するのは困難である。	代理人がどうしてもいない場合は、やむを得ない。円滑な会の運営のためにも、十分な引継ぎをお願いする。引継ぎについては、会議録や会の結果報告を活用していただきたい。
	28 2年を目処にということだが、何回で結論を出すのか。	概ね2年、2ヶ月に1回の協議会開催を予定しているが前向きに進んでいて、合意できそうなら、期間縮小も可能である。また、2年で進展がないようなら、協議会の見直しも必要になる。
	29 1年で、団体の役員任期が切れる。来年度は、別の人に引き継ぐということか。協議会の途中で、新しい委員に変わると、意見も言いにくいと思う。同じ人が続けた方がいいのではないか。	協議会の委員は、選出されている団体の代表である。団体の意見を集約して発言いただくため、各個人にはこだわらない。1年分の引継ぎは難であろうが、会議録等を活用して、新役員の方に引継ぎ願いたい。
	30 合併するなら、早くしてほしいという声も聞く。小学校だけ、中学校だけ先に、ということも可能か。	2年を目処に協議していく。場合によっては、例えば、中学校だけ先行してするようなこともできる。
	31 PTAから出ている委員は、会長、副会長の2名では、少ないのではないか。協議の中心となるべき保護者の委員数を増やした方がいいのではないか。	お考えは十分理解できるが、市内各地区とも同様の委員編成でお願いしている。保護者のご意見については、会の進行に合わせて説明会等を開催し、伺っていききたい。
	32 PTA関係で、説明会をした方が良い。PTAの意見を聞いたうえで、地域の意見を聞き、協議すべきである。	吉海小、中、保の保護者説明会 …10/25開催(64名参加) 宮窪小、中、保幼の保護者説明会 …10/27開催(49名参加)
	33 宮窪小学校の建築は、統合を踏まえてのものだったのか。	通学区域調整審議会に諮問したのがH20.5月。宮窪小は、かなり古く、危険であったため、建築はH19には始まっていた。
	34 何のための統合なのか、子どものためか、県の教育委員会の都合なのか、教員削減のためなのか。	子どもたちにより良い教育環境を提供するためです。
	35 合併はほぼ決まっております、いろいろ意見を言っても反映されないのではないか。	合併がほぼ決まっているということはない。仮に統合するにしても、いろいろな課題があると思うが、それを現在協議の途中である。「地元代表協議会」で一つずつ協議して解消していく。
	36 決定のタイミングがいつか。数年内か、ずっと先なのか。最短ならいつか。	2年を目処に考えている。ずるずる協議をするようなことはしない。意見がまとまれば、統合の準備を進める。協議が早く進めば、最短だと、再来年。

大島地区学校適正配置地元代表協議会 中間まとめ

	質問等	事務局回答等
37	宮窪公民館では、6:30~7:40に毎日、剣道の朝稽古をしている。統合するとできなくなる。	「学校統合による地域への影響」についても、地元代表協議会において十分協議していただきたい。